

国民健康保険 ～決算状況～

保険年金課 ☎66・1103

「国民皆保険制度」の根幹をなす国民健康保険（国保）は、市町村が保険者となって運営する医療保険制度で、その財政運営は皆さんに納めていただいた国民健康保険税や国・県などからの支出金・交付金で賄う仕組みとなっています。平成24年度の国保会計の決算状況をお知らせします。

加入状況と保険給付費の動向

蒲郡市国保の被保険者数は2万2,933人で3年連続の減少となりました。平成21度と比べ643人減少しましたが、70歳以上の人数は293人増加しました。

保険給付費（国保が支払った医療費などの金額）は被保険者数の減少の影響もあり、前年よりは若干減少しました。しかし、一人当たり保険給付費は、増え続けています。

平成24年度の決算状況

平成24年度は歳入額の82億3,529万4,000円に対して、歳出額は81億4,336万円となり9,193万4,000円の黒字でした。しかし前年度からの繰越金を除く実質的な収支では7,505万1,000円の赤字となります。

また、平成24年度は国民健康保険事業基金の取り崩しは行いませんでしたが、平成25年度は約1億5,000万円を取り崩す予算となっており、国保の財政は厳しい状態が続いているのが実情です。

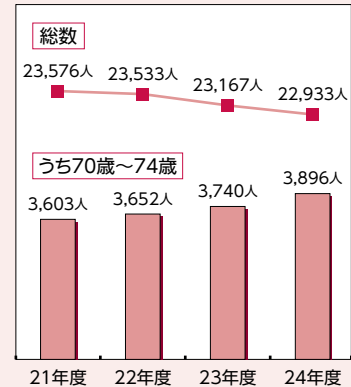
【歳入】

「国民健康保険税」は被保険者数が減少する一方で収納率が増加したため21億2,600万円で約5,400万円増、他の医療保険との財政調整のための「前期高齢者交付金」は、約18億6,900万円で約1億4,500万円の増、高額な医療費の支払いのための「共同事業交付金」は、約7億5,800万円で約9,300万円の減となりました。

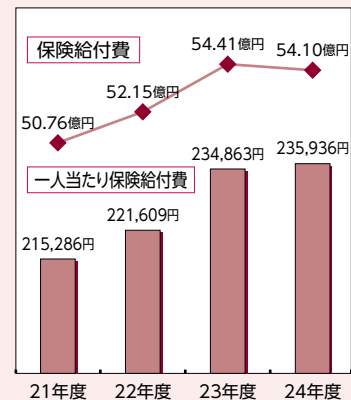
【歳出】

歳出の66%を占める「保険給付費」は約54億1,100万円で、対前年度比で約3,000万円の減、後期高齢者医療制度を支援するための「後期高齢者支援金等」は約11億5,900万円で約1億1,600万円の増、介護保険制度を支援するための「介護納付金」は4億8,300万円で約2,800万円の増、その他では国庫支出金の過交付分の返還金が約9,800万円生じました。

被保険者数の推移(各年度平均)



保険給付費の動向



平成24年度国保特別会計概要

だれもが安心して医療が受けられる、この国民健康保険制度を支えていくために保険税は納期までに納めましょう。

